



**UNHCR**  
The UN Refugee Agency

2010年6月24日

## キルギス南部の難民や避難民の帰還、UNHCRが持続性を訴える

政府関係者やメディア報道などから、国内避難民や隣国ウズベキスタンに避難していた難民がキルギス南部に帰還しており、その数が増加しているとの報告を受けた。

現段階で帰還民数を正確に特定することは難しいながらも、彼らの帰還は後押しされ、その数は既に3万人におよんでいると考えられる。

キルギスとウズベキスタン両国が危機に対しての解決策を見出し、強制移動を余儀なくされた人たちの訴えに対応したことにUNHCRは敬意を表した。しかしながら、帰還する先の安全性と持続性が備わっていることが知らされていることが必要となる。

キルギスへの再入国が承認され、難民など移動を余儀なくされた人たちの帰還をUNHCRは快く受け入れている。彼らの帰還は順序よく、さらに自主的かつ安全で尊厳が守られる状況のもと、実施されるべきである。そのため、UNHCRは難民や国内避難民などの意志に反するような帰還の指示を控えるよう、行政機関や地方自治体に呼びかけている。さらに自主的帰還は人道支援機関などが活動できる地域から取り組むべきだとUNHCRは要請している。

詳細については以下、連絡先までお問い合わせください

Andijan, Uzbekistan  
Natalia Prokopchuk +99 89 77 124 987  
[Prokopch@unhcr.org](mailto:Prokopch@unhcr.org)

Kyrgyzstan, Bishkek  
Ariane Rummery +996 775 989 100 / +92 300 500 1133  
[rummery@unhcr.org](mailto:rummery@unhcr.org)

Geneva, Switzerland  
Adrian Edwards +41 79 557 9120  
[edwards@unhcr.org](mailto:edwards@unhcr.org)  
Babar Baloch +41 79 557 9106  
[baloch@unhcr.org](mailto:baloch@unhcr.org)  
The following link will take you to the above:  
[www.unhcr.org/press-releases](http://www.unhcr.org/press-releases)

国連難民高等弁務官(UNHCR) 駐日事務所 広報室  
150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 6階  
Tel 03-3499-2310 Fax 03-3499-2272  
<http://www.unhcr.or.jp>

UNHCRの支援活動は皆様のご寄附に支えられています。ご寄附はUNHCRの公式支援窓口である国連UNHCR協会を通じてお願いします。国連UNHCR協会 Tel 03-3499-2450 Fax 03-3499-2273  
<http://www.japanforunhcr.org>



**UNHCR**  
The UN Refugee Agency

PRESS RELEASE